

あんぜんだより

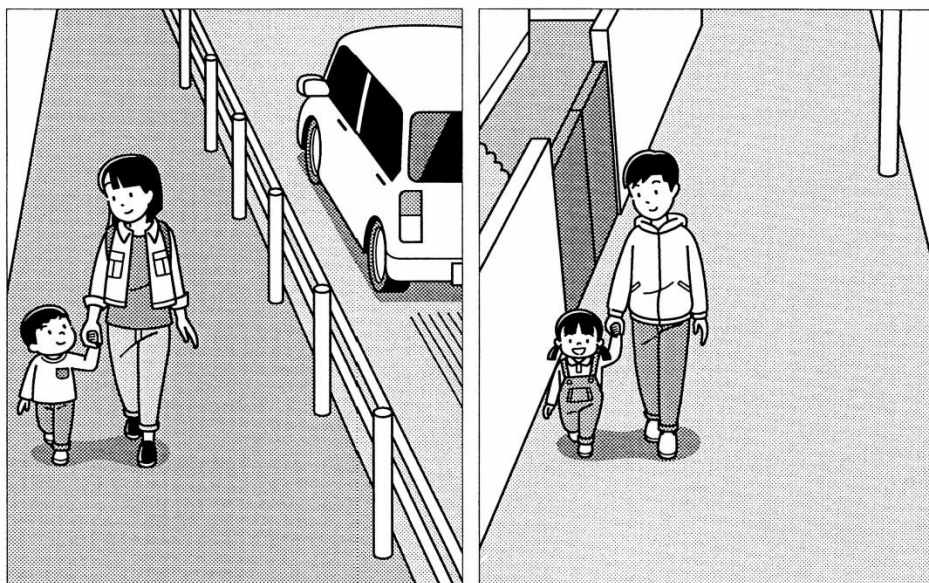
監修 全国学校安全教育研究会／東京都荒川区立南千住第二幼稚園 園長 立石見子先生



「外出時には手をつなぐ」 安全な生活のための基本

入園、進級おめでとうございます。年中クラス、年長クラスの子
もたちや保護者の皆様にとっては、繰り返しお伝えしていること
ですが、外出をする時には、必ず保護者と子どもがしっかりと手をつなぎ、
出発から帰宅まで安全に過ごせるようにしてください。

しっかり てを つないで あるこう

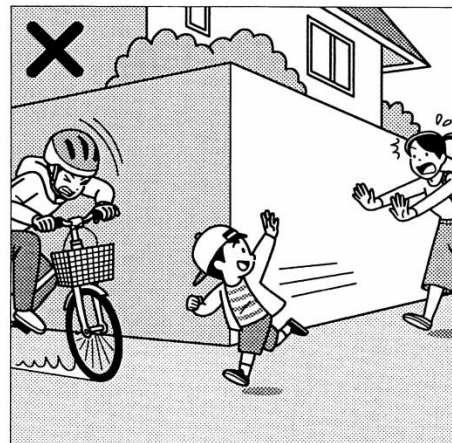


おうちの そとでは かならず おうちの おとなの ひとと
てを つなごうね。みちを あるく ときには くるまに きを
つけて ほどの なかなか みちの はしを あるこうね。

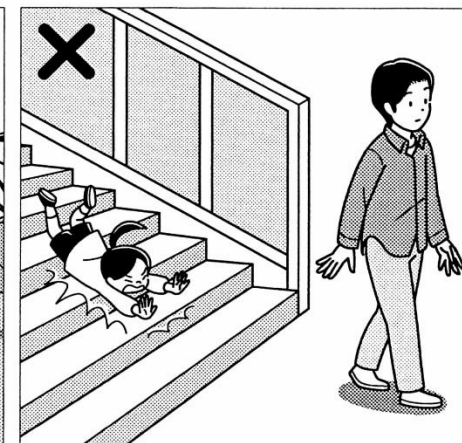
保護者の方へ 毎日を安全に過ごすための基本は、「安全な道の歩き方」を身につけることです。「家の近所だから」「ほんの少しの時間だから」と油断をせず、保護者は必ず子どもと手をつなぐようにしてください。子どもの転倒や、急な飛び出し、迷子になってしまう危険性を減らします。そして、道を歩く時には、必ず歩道を歩くことが大切です。車道と歩道の区別がないような細い道では右側通行が原則ですが、まずはできるだけ道の端に寄ることを心がけ、自動車や自転車、ほかの歩行者に十分に注意して歩きましょう。

よいこのあんぜんニュース 4月号 ©少年写真新聞社 2026年

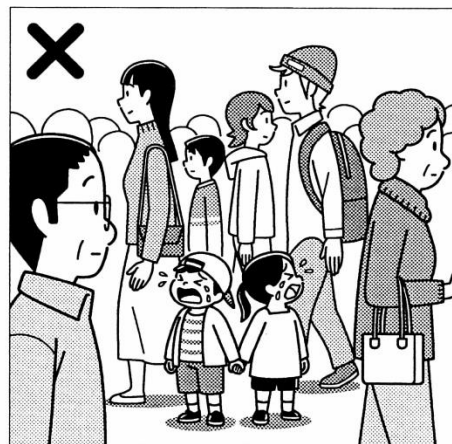
てを つないで いないと どんな ことが あぶないのかな？



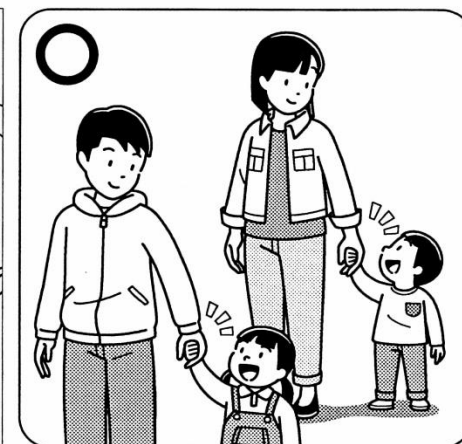
こうつう じこに あって
しまうかも しれないよ。



ころんで けがを して
しまうかも しれないよ。



ひとの おおい ところでは だから おうちの そとでは
まいごに なって しまうよ。 かならず てを つなごうね。



5月号では「道を渡る時の約束」について取り上げます。